

新青丸共同利用研究航海報告書

* 航海番号 KS-25-5次研究航海

* 航海名称 (和文) 黒潮続流の異常北偏が東北地方の気象および大気海洋間 CO₂交換に与える影響
(英文) Impacts of the anomalous northward shift of the Kuroshio Extension on Tohoku weather and air-sea CO₂ exchange

* 観測海域 (和文) 本州東方の黒潮続流域、東北沖、北海道南東海域
(英文) Kuroshio Extension region and off Tohoku and Hokkaido

* 航海期間 令和7年6月20日（金）～令和7年7月4日（金）

* 出港日時・場所 6月20日 14時 横須賀港 JAMSTEC 専用2号桟橋

* 入港日時・場所 7月 4日 10時 函館港西埠頭F岸壁

* 寄港期間・場所 なし

* 研究課題 黒潮続流の異常北偏が東北地方の気象および大気海洋間 CO₂交換に与える影響

* 主席研究員（氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@）
山口 凌平・海洋研究開発機構 地球環境部門・研究員・ryamaguchi@jamstec.go.jp

* 研究内容、主調査者（e-mail アドレス ◎は@）、観測項目

1. CTD/LADCP/XCTD 観測による水塊分布の把握
山口 凌平 (ryamaguchi@jamstec.go.jp)
水温・塩分・溶存酸素濃度・蛍光強度・PAR・透過度・濁度・流向流速
2. 採水による生物・化学環境観測定およびセンサー校正
山口 凌平 (ryamaguchi@jamstec.go.jp)
塩分・溶存酸素濃度・全炭酸濃度・アルカリ度・栄養塩濃度・植物色素・植物プランクトン/微生物細胞数・基礎生産速度・窒素固定・有機物分解活性・硝酸塩同位体・硝酸塩取り込み速度・環境 DNA
3. 水中グライダーによる暖水渦周辺の物理生物化学環境センサー観測
遠山 勝也 (ktoyama@mr-i-jma.go.jp)
水温・塩分・溶存酸素濃度・蛍光強度・後方散乱強度・CDOM
4. ラジオゾンデによる海面水温前線域における大気海洋相互作用観測
西川 はつみ (nishikawah@jamstec.go.jp)
気温・湿度・風向風速

5. 船体固定測器による大気連続観測

山口 凌平 (ryamaguchi@jamstec.go.jp)

大気水蒸気量・下層雲・放射

6. 降水・エアロゾル採取および連続モニタリング計測器による大気微量成分の連続観測

岩本 洋子 (y-iwamoto@hiroshima-u.ac.jp)

降水サンプル、エアロゾル粒子計数、オゾン濃度

7. 表層研究用海水の化学環境の航走連続観測

小杉 如央 (nkosugi@mri-jma.go.jp)

溶存酸素濃度・アルカリ度・pH

8. レーダ波浪計、超音波風速計による大気海洋間フラックス連続観測

小松 幸生 (kosei@aori.u-tokyo.ac.jp)

波高、運動量・熱・気体・粒子の海面乱流フラックス

* 乗船研究者（氏名 所属 職名）

山口 凌平	海洋研究開発機構 地球環境部門	研究員
西川 はつみ	海洋研究開発機構 地球環境部門	特任研究員
岡 英太郎	東京大学 大気海洋研究所 海洋部理学部門	教授
大林 由美子	愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	講師
小杉 如央	気象庁 気象研究所	主任研究官
児玉 武稔	東京大学 大学院農学生命科学研究科	准教授
佐藤 拓哉	東京大学 大学院農学生命科学研究科	助教
杉本 周作	東北大学 大学院理学研究科	准教授
高橋 直也	新潟大学 自然科学系	助教
Tey Cheng Yi	広島大学 大学院統合生命科学研究科	大学院生
Hou HungChun	東北大学 大学院理学研究科	大学院生
美山 透	海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門	主任研究員
八木 敬弘	東京大学 大学院農学生命科学研究科	大学院生
山内 来夢	東京海洋大学 大学院海洋科学技術研究科	大学院生
Tun Htet Aung	マリン ワーク ジャパン	観測技術員

* 航跡・測点図

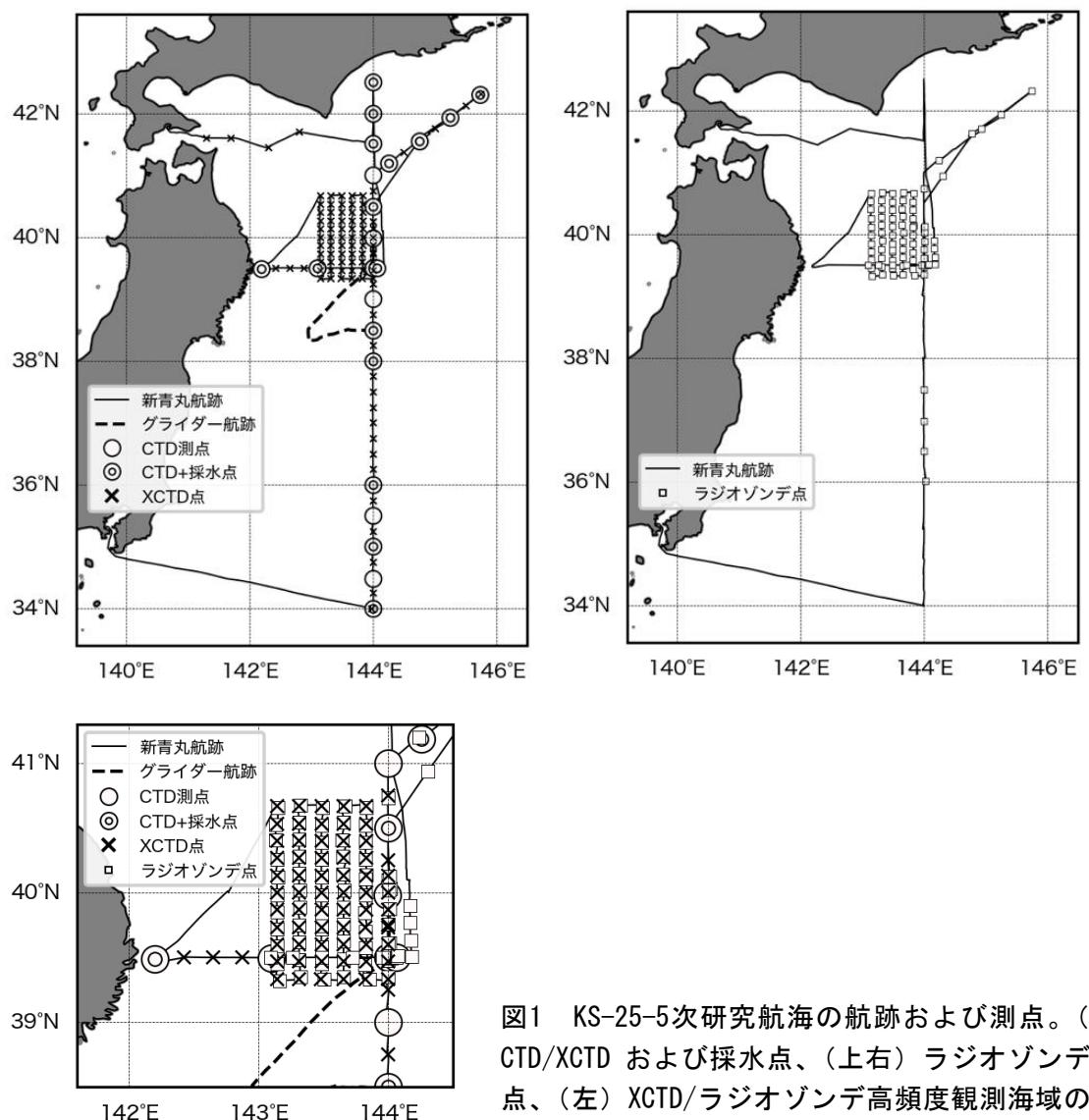


図1 KS-25-5次研究航海の航跡および測点。(上左)
CTD/XCTD および採水点、(上右) ラジオゾンデ放球地
点、(左) XCTD/ラジオゾンデ高頻度観測海域の拡大図。